

# 大都市郊外の高齢化に対応した 介護環境の構築

— 「新しい住まい」の可能性 —

「個」を強くする大学。



080917 明治大学 園田真理子



## 21世紀前半は大都市で激的な高齢化が進行中

### 喫緊の課題：大都市郊外部での介護環境の構築

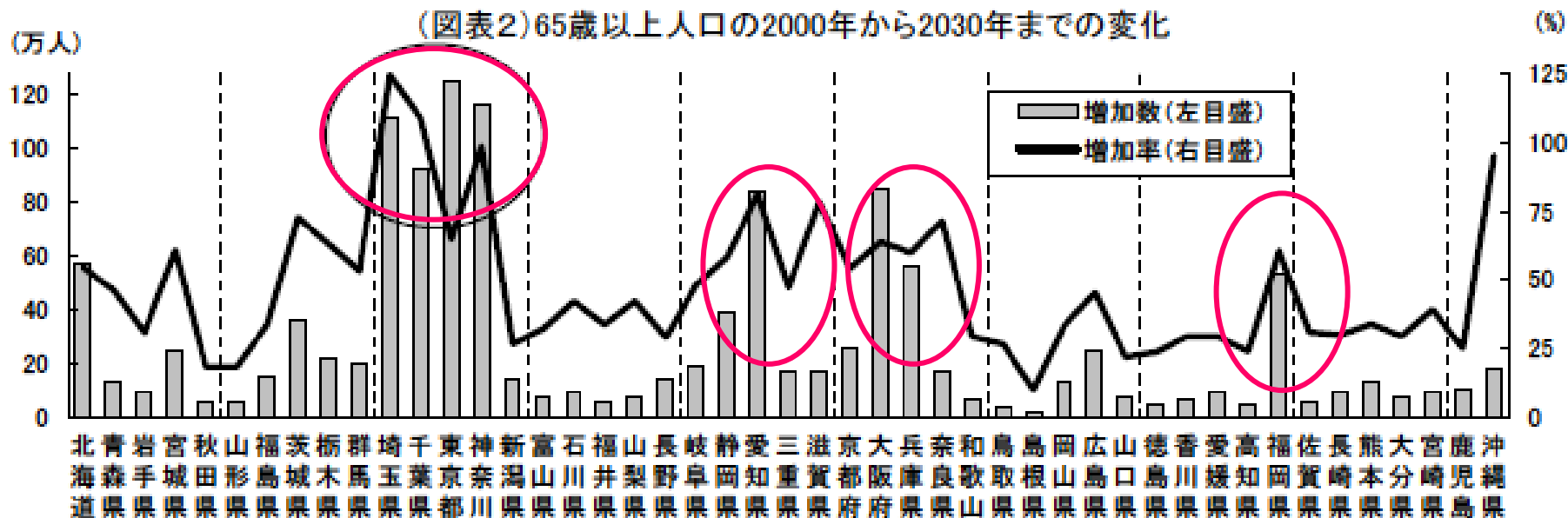
＜高齢化率(%)の変化 2000年→2010年＞

東京15.8→21.1 神奈川13.8→20.0 埼玉12.8→20.2 千葉14.1→21.3

地方での高齢化問題はもう終わってしまった!!

cf: 島根22.0→25.0 高知23.6→27.4 秋田23.5→28.0 山形23.0→26.2

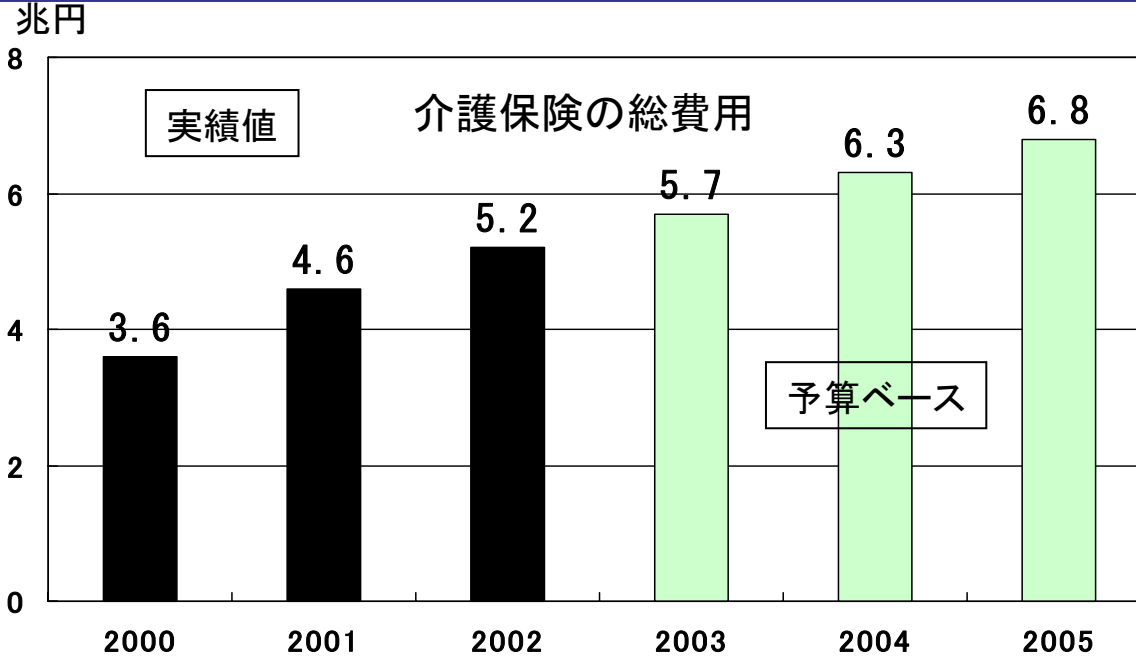
(図表2) 65歳以上人口の2000年から2030年までの変化



(資料) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口、2003年12月推計」

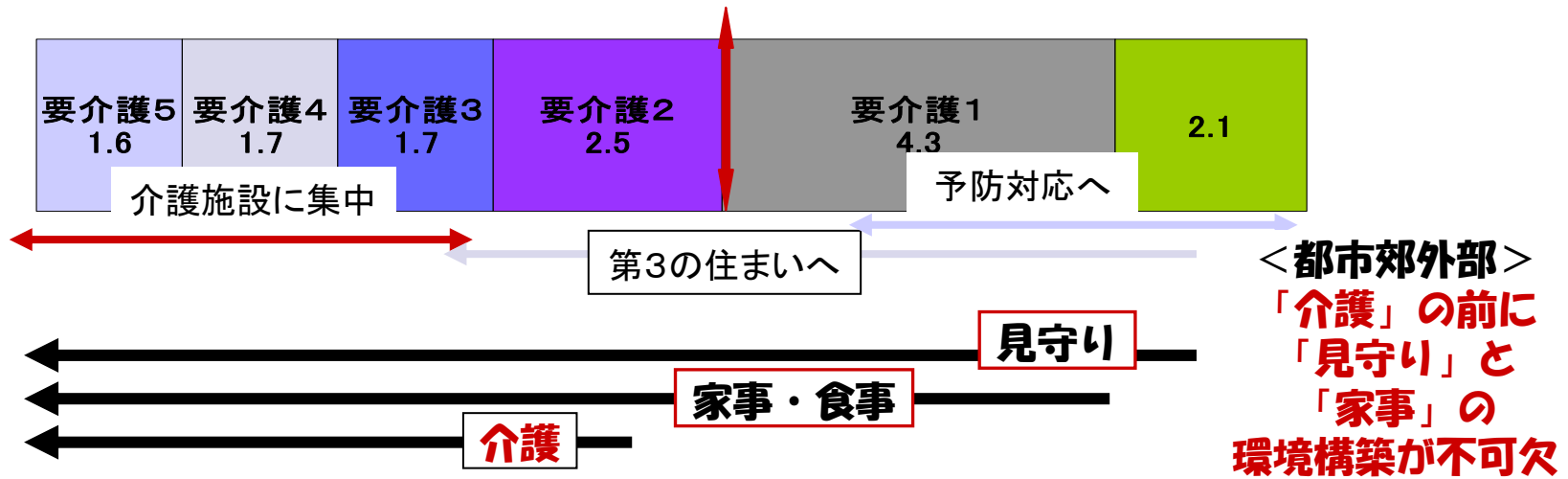


# (参考) 2006年見直し前の介護保険制度



要介護認定者の割合 (65歳以上人口比 13.9%)

当初予想を上回る認定数→財政圧迫→対象見直しへ





## 2015年の高齢者介護 高齢者の尊厳を支えるケアの確立に向けて

### 目標

### 高齢者の尊厳を支えるケアの確立

ケアモデルの転換

新しいサービス  
体系の確立

その実現に向けて

活力ある高齢社会  
づくりの基盤

#### 新しいケアモデルの確立

生活の継続を維持するための新しい  
介護サービス体系

在宅で365日・24時間の安心の提供

新しい「住まい」

高齢者の在宅生活を支える施設の  
新たな役割

地域包括ケア  
システムの確立

#### サービスの質の確保と向上

介護予防・リハビリテーションの充実

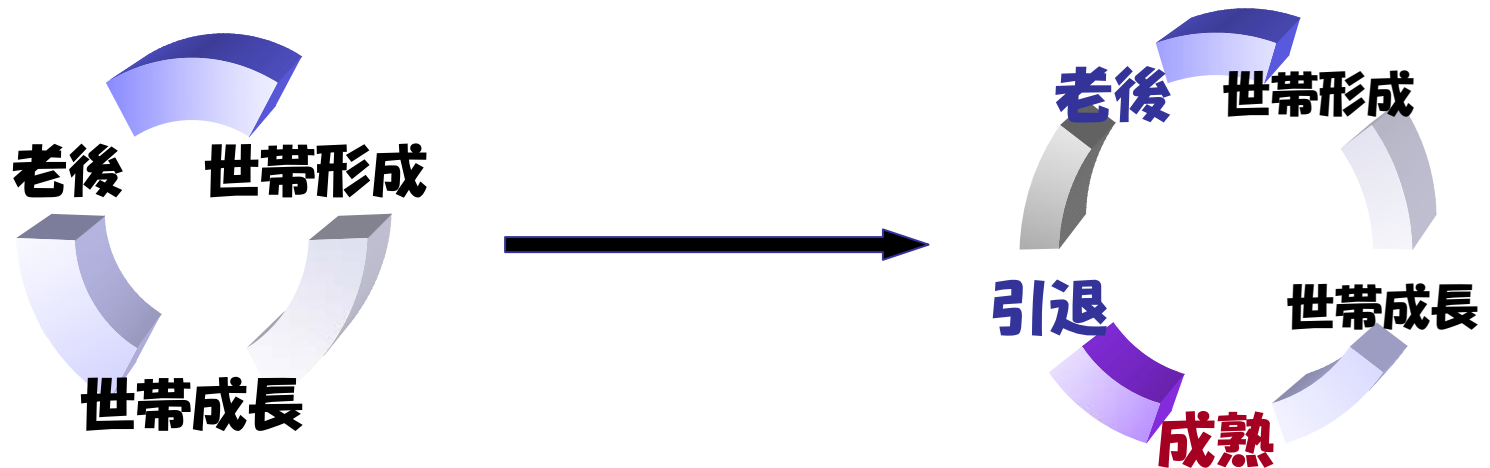


# 高齢者のライフサイクルの再吟味

●引退期 ●老後期 +要介護

- 子育て後は、30年ある
  - その30年は、3つの期間に分割できる
    - 成熟期 約10年間：男性55～65歳程度
    - 引退期 約10年間：男性65～75歳程度
    - 老後期 約10年間：女性75～85歳程度→小さな老後
- + 要介護 老後期に含まれるごく僅か（2年程度）の期間

} 大きな老後



人生は3拍子から5拍子へ



# 大都市高齢者の老後の「大問題」とは 見守り困窮・家事困窮・介護困窮

男性 70歳以上(妻の虚弱化:家事困窮、夫の介護:介護困窮)

女性 75歳以上(単身化:見守り困窮、孤立困窮、経済困窮 虚弱化:家事困窮、介護困窮)

